

「市民参加懇談会 in 福島（仮称）」開催について
（検討用ペーパー）

<開催計画案>

1. テーマ候補について

大テーマ候補

- ・「原子力とともに暮らす」
- ・「今、あなたにとって原子力発電とは」
- ・「原子力と浜通り 今、原子力をどう考えるか」
- ・「21世紀の原子力政策をともに考える」

小テーマ候補

別紙参照

2. 参加対象について

別紙参照、人数は200名程度か

3. パネリストの候補について

- ・ご協力いただいた団体の方、もしくはご紹介していただくか
- ・これまでのように有識者（地元紙等）に直接お願いするか
- ・小テーマに応じてお願いするか

4. 会の進め方について

別紙参照

5. 開催候補日時について

5月22日（土） 13:30～17:00

6. 会場候補

パレス華の樹 福島県双葉郡富岡町大字本岡字新夜ノ森 878

0240-22-8233

<開催に対する地元のご意見（富岡町婦人会前会長のご意見）>

1. 考えたいテーマ

- ・今後 原子力はどうなるのか
- ・エネルギー供給の中での原子力の存在
- ・信頼を回復するために何ができるか

2. 参加対象

市民懇をやる際には、福島第一と福島第二のエリアも合わせ、双葉郡全体でやるのがよい（8カ町村（広野町、楢葉町、富岡町、川内村、双葉町、大熊町、浪江町、葛尾村））。

3. パネリスト候補

青年、婦人、商工会、農業等の団体が双葉郡単位で集まっているので、相談するとよい。

4. 開催の仕方、進め方

まずテーマについて話をいただいた上で、その話を前提においてフロアーと対話をしてはどうか。いきなり「どうですか？」とフロアーに聴いても、フロアーからの発言者が続出することは考えられない。フロアーと自由にやり取りすることは割と難しい。

次のように進めるのはどうか。

- ・ まず、コアメンバーから、エネルギーの中で原子力発電についてどういう考えを持っているか、またはエネルギーについてどういう考えを持っているかのご意見を話していただく。（説明ではなく、それぞれの先生の特長を出して、短くご意見を話していただく。）
- ・ 次に、各層の市民（5人位：青年、婦人、商工会、農業等）からご意見を伺う。その後、それら各層の市民（5人位）とのキャッチボールを行い、たまに盛り上がった話題でその話題に関してフロアーにいる人に意見を聴く。フロアーに聴くのは2 - 3回程度で良いのではないか。

そのようにすれば、いろいろなことを考えながら聴くことができ、いろいろなことがわかったということになると思う。